

新型インフルエンザ対応状況調査（H21-5-8集計分）

一般社団法人東京都病院協会急性期医療委員会では、新型インフルエンザ発生を受け、協会役員および急性期医療委員会委員の病院に対して緊急アンケートを実施いたしましたので、集計結果を下記の通り報告いたします。

Q1) 外来に貼紙等の掲示をしていますか？

例:「10日以内に渡航歴のある人は受付にお申し出下さい。」

「発熱を伴う場合は来院せず保健所(TEL……)に連絡して下さい。」等

はい	21	(84.0%)
いいえ	4	(16.0%)
無回答	0	(0.0%)
計	25	(100.0%)

Q2) 病院として「今回の状況を受けて」職員へのマスク装着の励行を呼び掛けていますか？

はい	20	(80.0%)
いいえ	5	(20.0%)
無回答	0	(0.0%)
計	25	(100.0%)

Q3) 今回の事態を受け、入院患者(乳幼児・高齢者等)への面会制限をしていますか？

はい	10	(40.0%)
いいえ	15	(60.0%)
無回答	0	(0.0%)
計	25	(100.0%)

Q4) 今回、地元の市区町村からの情報提供はありましたか？

はい	18	(72.0%)
いいえ	6	(24.0%)
無回答	1	(4.0%)
計	25	(100.0%)

Q5) 病院で独自に実施している対策(自由記入)

マニュアルの周知徹底
1) 新型インフルエンザ対策特別委員会を開催(4/28) 2) 職員に院内メール、所属長から職員へ対応の周知。
各部門のスタッフへ対応の周知を図った(お知らせの配布)
行政(保健所)との連絡を密にしている。感染防止委員会を中心にして対策を立てている
患者対応マニュアル(封じ込め期)、職員向けマニュアルの配布。電子カルテに情報・対策、随時更新。

世田谷区医師会のポスターを5月1日から張り出し
発熱患者への対応。
職員を集めて勉強会を実施(4/28)。
病院内勉強会(30分)。手洗い指導、必要に応じガウン着用。
玄関外に張り紙を掲示し保健所と発熱センターの連絡先を持ち帰れるようにハガキ大の紙に印刷して設置した。
発熱外来、ER前に待合テント
対応手順を医局・診察室に配布
職員分のタミフル備蓄
陰圧テント、サーモグラフィー設置準備
タミフル、N-95マスク・防護服・ゴーグルの備蓄。 熱・咳のある人が面会に来た場合はマスクを渡している。
院内対応策、手順、連絡網の再確認。

Q6) 今、どのような情報が必要ですか？

インフルエンザについて、何でも。
1)簡易キットでの診断方法についての明確な情報 2)予防投与のタイミングについて 3)行政からのタミフルの流通 4)協力病院以外の準備状況 5)国内の感染の情報をいち早く 6)物品(薬品、マスク、ガウン)の流通状況
どの地域での発症か？人数は？
現時点(国内発症者なし)ではテレビ、新聞等の報道でほぼ足りている。
発熱外来にはタミフル・リレンザの供給があるのか(パンデミック期)
最新情報
どんな情報でもお知らせ願います。
感染者の広がり状況。
1)タミフル・リレンザの有効性 2)本当に弱毒性かどうか
1)日本で発生した時の地域と人数、 2)強毒に変化していないか、 3)中小病院の役割等
国内感染者の詳細を速やかに
アラート対象の新型インフルエンザが蔓延している国
住民へのアピール、広報。
プレパンデミックワクチン・パンデミックワクチンの製品完成・購入に関する情報。 迅速診断キット(新型インフルエンザH1N1)の実用化の情報。

調査実施日：平成21年4月30日

配布数と回答数：25/32(回収率78.1%)